

情報交差点・心と心の交わり

## あじまへ

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3029

大宜味中ソフトテニス部 第26回知花杯中学校ソフトテニス大会 第33回新報杯北部地区中学校ソフトテニス大会 で大活躍!!



またまた、大宜味中学校ソフトテニス部の快挙です。8月13日（土）、14日（日）に行われた第26回知花杯中学校ソフトテニス大会において、3年生の山城樹くんが玉城中学校の座波晃大くんとペアを組み、優勝、1年生の福地想楽くん、花田悠馬くんペアが3位に輝きました。

また、8月18日（木）、19日（金）に行われた第33回新報杯北部地区中学校ソフトテニス大会では、1年生の山城心さんが本部中の金城渚さんとペアを組み、1年生女子個人の部で優勝、2年生女子個人の部では仲宗根舞さん、根本羅々さんペアが3位、2年生男子個人の部には1年生の福地想楽くん、花田悠馬くんペアが先輩たちに交じって出場し、優勝、1年生男子個人の部では宮城健大くん、玉城晴翔くんが3位、そして2年生男子団体には想楽くん、悠馬くん、平良悠翔くん、山口栄智くん、宮城太陽くん、上原風輝くんが出場し準優勝となりました。

県の強豪が集まる知花杯で優勝を勝ち取った樹くんは「2試合はとても焦ったけど、ペアが助けてくれたので、決勝は楽しむこともでき、落ち着いて勝つことができた。」と試合を振り返りました。

少ない1年生部員の中、他中学校の生徒と組み新報杯で優勝を勝ち取った山城心さんは「難しいところもあったけど、楽しくできた。しっかりコースを狙って、集中できたことが勝因に繋がったと思う。」と喜びのコメントをくれました。特定のコーチがいらない中、自分たち独自の練習で着々と実力を付けているソフトテニス部。9月になってもまだまだ暑いですが、体調に気を付けながら日々精進してください！

リオよりも暑いタープでの戦い… 目指せ泥んこ金メダル!

### 平成28年度わんぱく体験団 第3弾「わんぱく泥リンピック2016」

8月3日（水）、わんぱく体験団第3弾「わんぱく泥リンピック2016」が行われました。

今回は夏休み真っ最中、久しぶりのタープ、そして低学年だけのわんぱくということで、どんな活動になるか若干不安でもあり、楽しみでもあったのですが、23名の団員が集まり、一生懸命汚れることを目標にドロドロのタープの中へ突入を試みました。

始めは「気持ち悪い!!」、「くさ〜い!」と言ってなかなか前に踏み出そうとしない団員たちでしたが、とりあえずタープin♪



恐る恐る足を踏み入れる団員たち…

一度汚れてしまえば、後は一緒♪思う存分暴れまわります。



全員泥に浸かったところで、早速ダッシュ。汚れるのも気にせず一目散に走っていく子もいれば、土の感触を味わいながら!?のんびり進む子、一心にカエルを追う子…(^\_^;)など、さすが低学年!自由な発想で思い思いに楽しんでいました。

わんぱく本領発揮!!



頼もしい表情です



女子も大活躍♪

2、3年生がリーダーに見えた日…



泥んこ王子たち★

最後は2つの班に分かれてドッジボールとバレー。泥に足を取られるため動きづらく、ボールも思ったように飛ばない中、団員たちは顔まで泥だらけになりながら、めいっぱい遊び、どのこも泥んこ金メダルにふさわしい頑張りを見せてくれました。

### いちやりばちよーでー、西会津の仲間と過ごした夏の思い出…

体験の翼交流事業 西会津交流団受け入れ

7月29日（金）～31日（日）、福島県西会津町から体験の翼交流団21名（男子8名、女子8名、引率5名）が大宜味村にやってきました。

西会津の友達との交流を通して、それぞれの地域の自然や気候、文化の違いを肌で感じながらお互いを理解する体験の翼。夏の交流は今年で23回目となります。

29日に行われた歓迎会の対面ではお互い緊張した面持ちで握手するのも恥ずかしがっていた団員たちですが、海で泳いだり、バーベキューをしたり、美ら海へ行ったり一緒に過ごす時間が増えることであるという間に仲良くなりました。

初顔合わせ…ちょっと緊張



ナイスショット!



マリンレジャーに挑戦!



食べられちゃう～



すっかり打ち解けたところでお別れ…



もりもり食べてやる～



冬になったらまた会おうね♪

寝るのも惜しんでずっと話していたと聞き、お別れ式の時に家族の一員のようにやって来た西会津の団員たちを見て、とてもいい時間を過ごすことができたのだと感じました。

来年の2月には大宜味村の団員が西会津に向かいます。西会津の家族に大宜味のことをたくさん伝えられるよう、西会津の魅力をたくさん勉強できるよう大宜味村の児童・生徒を代表して頑張ってください。

ガスも電気もない不便な場所だけど、楽しく過ごせる…。そう、これがわんぱくの力!

8月18日（木）～19日（金）の1泊2日、わんぱく体験団第4弾「レッツ!キャンプ!!」が行われました。毎年、高学年の団員だけで行われるわんぱくキャンプ。今年は午前中にキャンプ場から東村が見渡せる尾根までの沢歩きをしました。

これまでの雨で少し水は増えていましたが、上手に歩けば濡れないで歩けるちょっとしたハイキング。尾根までの道にはとても大きなクワズイモやリュウキュウヤマガメ、キノボリカゲにも出会うことができました。

いざ、やんばるの森へ!



ようこそ、やんばるへって、捕まえて!



様々な生きものがお出迎え♪ すごく大きいクワズイモ



沢歩きが終わったら、お昼ご飯をはさんで、いよいよキャンプの準備。まずは自分たちの寝床となるテント設営です。ペグの打つ位置や方向、ポールの入れ方、作業の順番などに気を付けながらこの日の寝床となる（ほとんど寝ないはずだけど(^\_^;)）テントを着々と作っていきました。この後はトイレを作ったり、調理にかかせないマキを拾ったり大忙しのわんぱくたち。



基礎はしっかりしないとね♪



立派な家、作るど〜



あっしが手伝いやす

しっかりね



もうすぐ、完成♪



マキはどこだ〜?

材料は山から調達



マキを選別



火おこし名人たち



おいしいカレーにするため、もくもくと作業



平成28年度わんぱく体験団

第4弾「レッツ!キャンプ!!」

ご飯もいい感じに炊けてます!



うちのカレーが一番♪



自分の姿にちょっとビビってます

夕食はカレーライス。じゃがいもやにんじんといったカレーライスの基本的な材料の他に一人一人がおすすめの一品を持参し、各班オリジナルのカレーライスができあがりました。味や、班の協力体制などをみんなで評価しあう「わんぱくカレーライス大会」では、男子チームが見事優勝!男子が作ったカレーはこの日のうちに売り切れてしまいました。

夕食の後は肝だめし。この日は月明かりもあり、明るい林道でしたが、スタート直後に走り出したり、仲間と固まり合っただり意外とびびりなわんぱくたちでした。



火おこしも様になってきました



並んで〜、朝食配るよ〜



スープもなかなかだな…

遅くまで起きていたにも関わらず、早く目覚めた朝。前日の残りのカレーをリメイクしたカレースープとパンの朝食。一緒に昼食用のごはんも炊きました。

テントも道具も片づけ、再びきれいな状態となったキャンプ場をあとにして、わんぱくたちは次なる目的地へ…。と、言っても着いたのは改善センター。ここで自分たちで使った皿や鍋、飯盒などをきれいに洗い、テントを片づけた後、田嘉里川で体と心の汗を流しました（ちょっと寒かったけど）。

キャンプの疲れはどこへいったのか、早速、川に飛び込んだり、自由に泳ぎまわったり、まだまだ元気なわんぱくたち。心行くまで（足りなかった!?) 遊んで、1泊2日のキャンプは幕を閉じました。



鍋もピカピカ☆



水の上でお昼寝!?



最後まで元気いっぱい!

### 村婦人会、安里美紀さん、婦人の主張、中央大会へ出場決定！！

8月6日（土）、大宜味村農村環境改善センターにおいて第49回北部地区婦人の主張大会が行われました。

この大会は少子高齢化や青少年の問題、福祉や地球環境の問題などの社会を取り巻く課題を解決するために学習と実践を重ね、貴重な意見を発表しあうことによって、自らの能力開発と女性の地位向上を図り、組織の活性化を目指すこと、さらに真の男女共同参画の実現と調和のとれた活力あるふるさとづくりを期待して実施されています。

大宜味村からは、喜如嘉の安里美紀さんが「なぜ！今婦人会」と題し、これまで福祉施設で働いていて婦人会の方々がシーツ交換などボランティアで活動している様子を見て婦人会に参加するきっかけになったこと、今度はボランティアを受ける側からする側になり大好きな喜如嘉のために頑張りたいと発表。見事、最優秀賞に輝き、中央大会への切符を手に入れました。

主張大会の間には月桃ゼリーや草餅、ロールケーキなど婦人会お手製のスイーツとドリンクで発表者や応援に来た家族、仲間のみなさんを癒し、婦人の踊りや寸劇で会場中を笑いに包み、大宜味村婦人会一丸となって訪れてくれた方々に最高のおもてなしで会場を盛り上げました。



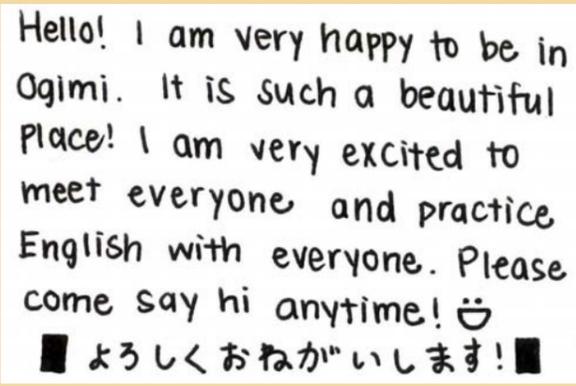
### ようこそ、大宜味村へ♪ ジェイミー先生着任

子どもたちに大人気だった小学校のティファニー先生、中学校のニック先生に代わり、2学期からジェイミー先生が大宜味村の幼稚園、小学校、中学校でALT（Assistant Language Teacher）として「外国語活動」の授業を見てくれることとなります。

日本語も堪能なジェイミー先生ですが、できるだけ英語で話しかけてみましょう！！みなさん、よろしくお願ひします。



名前：Yu Chien Chang（ユーチエ チャング）  
ニックネーム：ジェイミー  
台湾生まれ、カリフォルニア育ち



本人直筆のメッセージです。  
これも勉強、訳してみましょう！！

### 結の浜にぶながやっ子ハウス、オープン 大宜味村子どもの居場所運営支援事業

8月22日（月）、結の浜にある大宜味村立診療所敷地内の医師住宅に「ぶながやっ子ハウス」が開所し、オープニングセレモニーが行われました。

大宜味村では放課後や夜間などの居場所が必要な子ども達に対して、食事提供・生活指導・学習支援などを行うことができる居場所を設置し、子ども達が健康で安定した日常生活を送れることを目的とした大宜味村子どもの居場所運営支援事業を今年の4月より進めてきました。そして、今回診療所の医師住宅にぶながやっ子ハウスをオープンすることができました。

ぶながやっ子ハウスの責任者は喜如嘉の上原幸彦さん。上原さんは2年前から喜如嘉で山学校を運営しており、これまで村の行事や活動にも積極的に参加してくれています。

この日は山学校に通っている子ども達も駆けつけてくれ、みんなでぶながやっ子ハウスの開所を祝いました。



責任者：上原幸彦さん



上原美香さん



支援員：石川倫さん



調理員：宮城留美子さん

ぶながやっ子ハウスには責任者の上原さんはじめ、奥さんの美香さん、学習支援や一緒に遊んでくれる支援員の石川倫（塩屋出身 旧姓：島袋）さん、調理員の宮城留美子さん（塩屋出身）がおり、月曜日から金曜日の午後1時から午後8時まで開所しています。

参加する子ども達にあいさつや、身の回りの整理整頓、食事のマナーなどの基礎的な生活習慣の指導や宿題、予習・復習などの学習支援、軽食・夕食などの提供や共同での調理などを行い、年に数回地域活動にも参加する予定です。



開始日：平成28年8月22日（月）～平成29年3月31日（金）  
土曜日・日曜日・祝日・年末年始（12/29～1/3）は休み  
場所：大宜味村立診療所内 医師住宅（結の浜）  
開始時間：午後1時～午後8時  
月～金（学習支援・生活支援・相談支援）  
月、水、木、金（食事支援）  
対象児童：主に要保護児童・準要保護児童・ひとり親世帯児童・住民税非課税世帯の児童（18歳まで）  
料金：無料  
問い合わせ：大宜味村役場住民福祉課 ☎0980-44-3003





## 「しまふとうば」のこと 8



うみがーみー

### 感性の多様性

ウミガメの孵化観察会をすると子ガメが砂の中から次々に出てくる瞬間を見て、参加者の多くの感性が言葉としてその場で発せられる。「可愛い」「すご～い」「わ～・・・」等は良しとして、「何これ」「気持ち悪い」「ウジ虫みたい」「げ～～」等の声は・・・言うまでもなく前者は殆どが子どもたちで後者は大人たちである。子ガメが砂中から出てくる同じ場面を見ていて実に多くの感じ方がある。ちょっと昔の観察会の話。感性豊かなはずの新聞記者の感じ方は「虫がうじゃうじゃであるような・・・」隣にいた5～6歳の女の子は「カメさんが砂の中から押しくらまんじゅうしながらでてきた」であった。新聞記者は自身の記者としての適性を疑ったという。

8月3日、「カメが出そう」と情報を流したら50～60名の人ばかり。砂中の子ガメにとっては、砂上で動き回る50～60名の人間の足音の“騒音”は我々が日頃経験するオスプレイの騒音の比ではないだろう。その日は子ガメの数より人の方が多かった。その時の話題。産卵巣を多くの人が囲んでいる中で、時々カメを観察している女性がいつものように聴診器で砂中の子ガメが動く音を聞いていたらしい。その後所用を済ました私がその場所に行き、聴診器で音を聞いていると間もなく子ガメが出てきた。喧騒の中海に帰って行った。この時の5～6歳の女の子の感想。「人の赤ちゃんが生まれるときに最初は看護婦さんが聴診器をあてて、そのあと子どもが生まれる前にはお医者さんが聴診器をあてる。子どもが生まれるときは人もウミガメも一緒だね」聴診器で砂中の音を聞いていた女性と私はその時看護婦と医者になっていた。

せわしい時代だからこそ大人が子どもたちの発する感性を素直に受け止める「心のゆとり」を意識して持つべきであろう、と子どもたちの感性から学んだ。かつては我々も持っていたはずの感性だ。



### 今月の生きもの



写真：やんばる野生生物保護センター提供

### オキナワトゲネズミ：ネズミ科

ハイサイ♪ぼく、オキナワトゲネズミです。

最近ではポケモンが流行っていてみんなはピカチュウに夢中かもしれないけど、ぼくらトゲネズミのことも知ってほしいな。ぼくらは1970年代まではそれなりに確認されていたんだけど、2000年代半ばになると全く姿が見つからなくて絶滅が心配されていた。でも2008年3月に細々だけど生き残っていることがわかったんだ。ぼくらトゲネズミ属は奄美、徳之島、やんばるにしか生息していない1属のネズミ。オキナワトゲネズミはやんばるを代表する生きものなんだ。ぼくたちが一番恐れているのはネコ。心無い人が山に捨てたネコのせいでぼくらは数を減らしてきた。生きものみんなが幸せに暮らせるように、ペットは最後までお家で飼ってほしいな。

### 🍷 9月の行事予定 🍷

1日（木）区長会

3日（土）県3on3大会国頭地区予選  
運動会ごっこ（塩屋保育所）

10日（土）ぶながや運動会（喜如嘉保育所）

11日（日）村陸上競技大会

12日（月）振替休日（大小・大中）

15日（木）村教委学校計画訪問③（幼・給セ）

17日（土）大宜味小・中登校日 PTSA 作業

18日（日）大宜味小・大宜味中運動会

19日（月）敬老の日

22日（木）秋分の日

23日（金）振替休日（大小・大中）

24日（土）わんぱく体験団⑤

27日（火）交通安全推進村民大会

30日（金）大宜味村物産・観光と芸能フェア ～10月2日



夏休みも終わり、あっという間に運動会シーズンです。今年から小学校、中学校合同で行われる運動会。規模も大きくなり、これまで以上に盛り上がることだと思います。みなさんも楽しみにしててください。